



Hearton Hotel

# Directory of Services

服务目录

서비스 디렉토리

ようこそハートンホテルへ

このたびは、ハートンホテルをご利用いただき誠にありがとうございます。

心ゆくまでどうぞごゆっくりおくつろぎくださいませ。

なお、当ホテルにつきましての、ご要望、お気づきの点がございましたら、

何よりとお申し付けくださいますようお願い申し上げます。

支配人

## WELCOME TO HEARTON HOTEL

All of us on the hotel-staff cordially welcome you to Hearton Hotel.

We shall do our best to make your stay comfortable.

Any comments or suggestions on services,  
facilities or anything else will be appreciated.

GENERAL MANAGER

欢迎来到心達酒店

真诚地感谢您此次利用哈通酒店。

请尽量放松您的心！

如您对本酒店有任何要求，问题及意见，

请随时与我们交流。

总经理

HEARTON 호텔에 오신 것을 환영합니다

HEARTON 호텔의 사용에 진심으로 감사합니다.

마음을 이완시키는 시도하십시오!

당신은 호텔, 문제와 조언의 어떤 요구 사항이있는 경우

우리에게 얘기 주시기 바랍니다.

지배인

## 利用規則

## 宿泊約款

ホテルの公共性と安全性を確保するため、当ホテルをご利用のお客様は、下記の規則をおまもりいただくことになっております。この規則で禁じられた事項をおまもりいただけないときは、当ホテルのご利用をお断りさせていただきます。

### 記

1. 客室を許可なしに宿泊以外の目的にご使用にならないこと。
2. 廊下及び客室内で暖房用、炊事用などの火器をご使用にならないこと。
3. ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所での喫煙をなさらないこと。
4. 高音放歌や喧騒な行為、その他で、他人に嫌悪感を与えたり、迷惑を及ぼしたりすることのないこと。
5. 館内に次のようなものをお持ち込みにならないこと。
  - (イ) 動物、鳥類。
  - (ロ) 著しく悪臭を発するもの。
  - (ハ) 著しく多量な物品。
  - (ニ) 火薬は揮発油など、発火あるいは引火しやすいもの。
  - (ホ) 適法に所持を許可されていない鉄砲、刀剣類。
6. 館内および客室内でとばくおよび風紀をみだすような行為をなさらないこと。
7. 外来客を客室内に招いて、客室内の諸設備、諸物品などの使用をしたりなさらないこと。
8. 客室やロビーを事務所がわりに使用をなさらないこと。
9. 館内および客室内の諸設備、物品をその目的以外の用途に充てないこと。
10. 客室内の備品を外へ持ち出したり、ホテル内の他の場所に移動したりなさらないこと。
11. ホテルの建築物や諸設備に異物をとりつけたり、現状を変更するような加工をなさらないこと。
12. ホテルの外観をそこなうような品物を窓にお掛けにならないこと。
13. ホテル内で他のお客様に広告物を配布するような行為をなさらないこと。
14. 廊下やロビーなどに所持品を放置をなさらないこと。
15. ホテル外から飲食物の出前をおとりにならないこと。
16. ご利用金額が 30,000 円をこえた場合、ホテルより請求がありましたらお支払いをお願い申し上げます。
17. ご予定宿泊日数を変更なさる場合は、フロントに予めご連絡くださること。
18. ご予定宿泊日数を延長なさる場合は、延長以前のお勘定をお支払いくださること。
19. お預りの洗濯物、クローゼットでのお預り物やお忘れ物の保管は特にご指定のない限りご出発後 3 ヶ月までとさせていただきます。
20. 現金その他の貴重品は必ずフロントにお預け下さい。お預り物以外の物品の紛失につきましては、当ホテルは責任を負いかねます。

### 適用範囲

- (第1条) 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約およびこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は、一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

### 宿泊契約の申込み

- (第2条) 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
- (1) 宿泊者名
  - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - (3) 宿泊料金(原則として別表 1 の基本宿泊料による)
  - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

### 宿泊契約の成立等

- (第3条) 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
  3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
  4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払い期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限りです。

### 申込金の支払いを要しないこととする特約

- (第4条) 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に定めることがあります。
2. 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

### 宿泊契約締結の拒否

- (第5条) 当ホテルは次にあげる場合において、宿泊契約の締結しないことがあります。
- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
  - (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
  - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
  - (4) 宿泊しようとする者が、暴力団、暴力団構成員、準構成員、暴力団関係企業、その他反社会的勢力であるとき。
  - (5) 宿泊しようとする者が、暴力団または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体であるとき。
  - (6) 宿泊しようとする者が法人で、その役員のうち暴力団員に該当する者がいるとき。
  - (7) 宿泊に関し、合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - (8) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
  - (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
  - (10) 宿泊しようとする者が泥酔者等で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき、及び、宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。(各都道府県条例による)
  - (11) 未成年者のみのご宿泊は、特に保護者の許可のない限りお断りいたします。

### 宿泊客の契約解除権

- (第6条) 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限りです。
  3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊当日の午後10時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

## 宿泊約款

### 当ホテルの契約解除権

- (第7条) 当ホテルは次にあげる場合において、宿泊契約を解除することがあります。
- 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、または同行をしたと認められるとき。
  - 宿泊客が伝染病者であると明らかに認められるとき。
  - 宿泊に関し合理的な範囲を越える負担を求められたとき。
  - 宿泊客が、暴力団、暴力団構成員、準構成員、暴力団関係企業、その他反社会的勢力であると認められるとき。
  - 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき
  - 宿泊しようとする者が泥酔者等で他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき、及び、宿泊客が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。(各都道府県条例による)
  - 寝室での寝たこ、消防用設備に対するいざずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客が、いまだ提供をうけていない宿泊サービスの料金はいただきません。
3. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客および関係者等第三者に対し、当ホテルは一切の賠償責任義務を負いません。

### 宿泊の登録

- (第8条) 宿泊客は、宿泊当日、当ホテルにおいて、次の事項を登録していただきます。
- 宿泊客の氏名・年齢・性別・住所及び職業。
  - 外国人にあつては、国籍・旅券番号・入国地及び入国年月日
  - 出発日及び出発予定時刻
  - その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

### 客室の使用時間

- (第9条) 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝12時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次にあげる追加料金を申し受けます。
- 13:00まで¥1,000 / 14:00まで¥2,000 / 15:00まで¥3,000 (部屋タイプ問わず)
  - 超過3時間以上は、基本宿泊料の全額

### 利用規則の遵守

- (第10条) 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

### 営業時間

- (第11条) 当ホテル内施設の営業時間は、各所の提示、客室内インフォメーション等でご案内いたします。
2. 前項の施設等の営業時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適宜お知らせします。

### 料金の支払い

- (第12条) 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金等の支払いは、宿泊客の到着の際又は当ホテルが請求したとき、日本円、当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これにかわる方法によりフロントにおいて行っていただきます。
  - 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が、任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

### 当ホテルの責任

- (第13条) 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、宿泊客の前項の損害に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しておりますが、保険契約上の免責事由に該当するときは、宿泊客の被った損害が填補されない場合があります。

### 契約した客室の提供ができないときの取扱い

- (第14条) 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了承を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

### 寄託物等の取扱い

- (第15条) 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であつて、フロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により、滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、10万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

### 宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

- (第16条) 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡します。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め3ヶ月間保管します。
- 但し、貴重品については、最寄りの警察署へ届けるものとします。また、飲食物及び雑誌並びにその他の廃棄物に類するものについては、チェックアウトの翌日までにご連絡がない場合には、当ホテルにて任意に処分させていただきます。
3. 当ホテルは、置き忘れられた手荷物又は携帯品について、内容物の性質に従い適切な処理を行うため、その中身を任意に点検し、必要に応じ、遺失者への返還又は前項に従った処理を行うことができるものとし、宿泊客がこれに異議を述べることができないものとします。
4. 第1項及び第2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、当ホテルに故意又は重過失のある場合を除き、1万円を限度としてその損害を賠償します。

### 駐車場の責任

- (第17条) 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは、場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害をあたえたときは、その賠償の責めに任じます。

### 宿泊客の責任

- (第18条) 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被つたときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

### 別表第1

宿泊料金等の内訳(第2条第1項及び第12条第1項関係)

		内 訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料(室料)
	追加料金	②飲食物及びその他の利用料金
	税金	③消費税 ④宿泊税(都道府県地方税法による)

### 別表第2

違約金(第6条第2項関係)

契約申込人数	解約解除の通知をうけた日	解約解除の通知をうけた日				
		不 泊	当 日	前 日	9 日 前	20 日 前
一般	14名まで	100%	80%	20%		
団体	15名～99名まで	100%	80%	20%	10%	
	100名	100%	100%	80%	20%	10%

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分(初日)の違約金を収受します。
3. 団体客(15名以上)の一部について契約の解除があつた場合、宿泊の10日前(その日より後に申込をお引き受けした場合にはそのお引き受けした日)における宿泊人数の10%(端数が出た場合には切り上げる。)にあたる人数については、違約金はいただきません。

To maintain the generality and reliability of the hotel, the guests of this hotel are requested to observe the following rules.

In case one of these rules is violated by a certain guest, their stay will be discontinued regardless of the previous reservation.

1. Not to use the guest room for purpose other than lodging
2. Not to use any burner for heating or cooking in the room or the hall-way.
3. Not to smoke in bed or other places where causes of fire are apt to occur.
4. Not to make a great noise or make yourself a nuisance to others.
5. Not to bring the followings in this hotel.
  - (A) Animals, birds, etc.
  - (B) Things with loathsome smell.
  - (C) Items of large quantity.
  - (D) Explosive items such as gun powder, gasoline, etc.
  - (E) Guns and swords of illegal possession.
6. Not to gamble or take any behavior against public morals in this hotel.
7. Not to bring visitors in the room and let them use the furniture and fixtures.
8. Not to use the room or lobby as business offices.
9. Not to use the furniture and fixtures in this hotel other than the original purpose.
10. Not to take out any fixtures in the room or move those to other place in this hotel.
11. Not to fix any other items to the room or to the furniture or work upon the present state of the furniture and fixtures.
12. Not to hang up any items at the windows which will spoil the outside view of this hotel.
13. Not to hand out any bills to the other guests in this hotel.
14. Not to leave your belongings in the hall-way or the lobby.
15. Not to order meals and drinks from outside.
16. In case the total amount of your bill exceeds ¥30,000, the settlement will be made upon our guest.
17. If you wish to change the period of your stay, you are to notify the front desk.
18. If you wish to extend your stay, you are requested to balance the original account.
19. The management of your laundries or other belongings stored in the cloakroom and other items left behind without inquiry will be for the period of three months after your departure.
20. The management is not liable for any loss of money or other valuables unless they are deposited in the safe of the Front Office.

#### Scope of Application

##### Article 1

- Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. And any particulars not provided for herein shall be governed by laws and regulations or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding Paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

#### Application for Accommodation Contracts

##### Article 2

- A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
- (1) Name of the Guest(s);
  - (2) Date of accommodations and estimated time of arrival;
  - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in Attached Table No.1); and
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest requests, during his stay, extension of the accommodation beyond the date in Subparagraph(2)of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

#### Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

##### Article 3

- A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay(3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
  3. The deposit shall be first used for The Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for the cancellation charges under Article 6 and thirdly for the reparations under Article 18 if applicable, and the remainder, if any, shall be refunded at the time of the payment Accommodation Charges as stated in Article 12.
  4. When the Guest has failed to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2 the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case when the Guest is thus informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

#### Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

##### Article 4

- Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested the payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be construed that the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

#### Refusal of Accommodation Contracts

##### Article 5

- The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following cases:
- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
  - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available.
  - (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order or good morals in regard to his accommodation.
  - (4) When the Guest seeking accommodation is deemed to be a member of or be linked to a crime syndicate, organized crime groups or any antisocial organizations.
  - (5) When the Guest seeking accommodation can be detected as a corporation or other groups of which business activities are under control of a crime syndicate or organized crime groups.
  - (6) When the Guest seeking accommodation is a corporate company which its director is proven to be a member of an organized crime syndicate.
  - (7) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
  - (8) When the Guest seeking accommodation can be clearly detected as carrying an infectious disease.
  - (9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, dysfunction of the facilities and other unavoidable caused.
  - (10) When the guest appears liable to, or in fact conducts himself in a disorderly manner, or when the guest disturbs or annoys other guests, especially when the guest is heavily intoxicated.(Prefectural Ordinance are applicable.)

#### Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest

##### Article 6

- The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by so notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested the payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before The payment),the Guest shall pay cancellation charges as listed in attached Table.No2.However,in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of the payment of the cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
  3. In the case when the Guest does not appear by 10:00.p.m.of the accommodation date (2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified of it) without an advance notice, the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.



## PROVISIONS GOVERNING ACCOMMODATION AGREEMENTS

### Right to Cancel Accommodation Contracts by the Hotel

#### Article 7

The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following cases:

- (1) When the Guest is deemed liable to conduct and have conducted himself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his accommodation.
  - (2) When the Guest can be clearly detected as carrying an infectious disease.
  - (3) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his accommodation.
  - (4) When the Guest is deemed to be a member of or be linked to a crime syndicate, organized crime groups or any antisocial organizations.
  - (5) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and other unavoidable causes.
  - (6) When the guest appears liable to, or in fact conducts himself in a disorderly manner, or when the guest disturbs or annoys other guests, especially when the guest is heavily intoxicated. (Prefectural Ordinance are applicable.)
  - (7) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, mischief to the fire fighting facilities and other prohibitions of the Use Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid the causing fires)
2. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services in the future during the contractual period which he has not received.
  3. In the case when the Hotel has cancelled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall have no liability for reparations to the Guest and any related third parties.

### Registration

#### Article 8

The Guest shall register the following particulars at the Hotel on the day of accommodation:

- (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
  - (2) For non-Japanese: nationality, passport number, port and date of entry in Japan;
  - (3) Date and estimated time of departure; and
  - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons or credit cards, these credentials shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

### Occupancy Hours of Guest Rooms

#### Article 9

The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3:00 p.m. to 12:00 noon the next day. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.

2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be incurred as follows:
  - (1) Until 13:00 1,000yen / Until 14:00 2,000yen / Until 15:00 3,000yen
  - (2) More than 3 hours: room charge in full.

### Observance of Use Regulations

#### Article 10

The Guest shall observe the Use Regulations established by the Hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

### Business Hours

#### Article 11

The business hours of the main facilities, etc. of the Hotel are as follows, and those of other facilities, etc shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.

- (1) Service hours of front desk, cashier's desk, etc.
 

Front service	24 hours
---------------	----------

The business hours specified in preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable causes of the Hotel. In such a case, the Guest shall be informed by appropriate means.

### Payment of Accommodation Charges

#### Article 12

The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is listed in attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid with Japanese currency or by any means other than Japanese currency such as traveler's checks, coupons or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of the departure of the Guest or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities which have been provided for him by the Hotel and are at his disposal.

### Liabilities of the Hotel

#### Article 13

The Hotel shall compensate the Guest for the damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.

2. Insurance in order to deal with unexpected fire and other disasters.

### Handling When Unable to Provide Contracted Rooms

#### Article 14

The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation cannot be made notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to the causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not compensate the Guest.

### Handling of Deposited Articles

#### Article 15

The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused to the goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when this has occurred due to causes of force majeure.

1. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest to report it's kind and value but the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 450,000 yen.
2. The Hotel shall compensate the Guest for the damage when loss, breakage or other damage is caused, through intentional or negligent on the part of the Hotel to the goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the front desk. However, for articles of which the kind and value have not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest within the limits of 150,000 yen.

### Custody Baggage and Belongings of the Guest

#### Article 16

When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case when such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of the check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest is found left after his check-out, and the ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no instruction is given to the Hotel by the owner or when the ownership is not confirmed, the Hotel shall keep the article for three months including the day it is found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel liability in regard to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two Paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

### Liability in Regard to Parking

#### Article 17

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused through intention or negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

### Liability of the Guest

#### Article 18

The Guest shall compensate the Hotel for the damage caused through intentional or negligence on the part of the Guest.

### Attached Table No.1

Calculation method for Accommodation Charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

		Contents
Total Amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	①Basic Accommodation Charges (Room Charge)
	Extra Charges	②Meals & Drinks and Other Expenses
	Tax	③Consumption Tax ④The Accommodation Tax (Prefectural Ordinance are applicable.)

### Attached Table No.2

Cancellation Charges for Hotels (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Date when Cancellation of Contract is Notified	Contracted Number of Guests				
	Individual	Group			
	1 to 14	15 to 99	100 and more		
No Show	100%	100%	100%		
Accommodation Day	80%	80%	100%		
1 Day Prior to Accommodation Day	20%	20%	80%		
9 Day Prior to Accommodation Day		10%	20%		
20 Day Prior to Accommodation Day			10%		

#### Remarks

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for it's first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, the cancellation charge shall not be charged for the number of persons equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (when accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of the date) with fractions counted as a whole number.

## 利用规定

## 住宿条例

为确保酒店的公共性及安全性，请利用本酒店的顾客遵循以下规定。  
如无法遵守此规定的条例，酒店方有权拒绝提供本酒店的服务。

### 规定事项

1. 禁止未经酒店方许可而将客房用作住宿以外的用途。
2. 禁止在走廊及客房内使用取暖，煮饭的电器。
3. 禁止在床上等易发生火灾的地点吸烟。
4. 禁止大声唱歌，高声喧哗以及其他对别人造成困扰或不快的行为。
5. 禁止将以下物品带入酒店。
  - ① 动物，鸟类。
  - ② 散发强烈气味的物品。
  - ③ 数量庞大的物品。
  - ④ 火药，挥发性汽油等易燃易爆物品。
  - ⑤ 未办理许可证的枪炮，刀剑类。
6. 禁止在酒店内赌博及做扰乱风纪的行为。
7. 禁止邀请外来人员进入客房，利用酒店设施，使用酒店物品。
8. 禁止利用客房及大厅作为办公场所。
9. 禁止使用馆内及客房内的设施，物品做正当目的以外的用途。
10. 禁止将客房内的设备带出酒店外或移至酒店内的其他场所。
11. 禁止在酒店的建筑物，各种设施上附加异物，或做任何改变现状的加工。
12. 禁止在窗户上悬挂任何改变酒店外观的物品。
13. 禁止在酒店内对其他客人散发广告等。
14. 禁止在走廊及大厅放置私人物品。
15. 禁止订购酒店外饮食的送货服务。
16. 如利用金额超过 3 万日元，请按照酒店要求支付押金。
17. 如需要变更住宿天数，请事先通知前台。
18. 如需延长住宿天数，请付清延长以前的费用。
19. 对客人寄存在酒店的清洗衣物，寄存在衣帽间的物品如无特别指示酒店只保留从客人结帐之日起算 3 个月。
20. 请将现金或贵重物品寄存至前台。酒店不对寄存物以外物品的遗失负责。

### 适用范围

- (第1条) 本酒店与客人签订的住宿协议以及与此关联的规则，依照此款的内容，此条款没有涉及的事项，参照法令及一般习俗。
2. 本酒店在不违反法令及一般习俗的前提下制定的特殊约定，优先于前一项规定。

### 申请住宿的契约

- (第2条) 欲入住本酒店，请向酒店提交以下材料。
- (1) 住宿者姓名
  - (2) 入住日及预定到达酒店时间
  - (3) 住宿费（原则上参照别表 1 的基本住宿费）
  - (4) 其他本酒店认为必要的材料。
2. 住宿者如在前项第 2 条规定的住宿日期以后申请住宿日期延长时，本酒店在其提交申请的时间起按照新的住宿契约申请处理。

### 住宿契约成立等

- (第3条) 规定本酒店在承诺前一条提及的申请时刻起住宿契约成立。但如可证明本酒店未承诺过则不在此契约范围内。
2. 按前项规定住宿契约成立时，需在本酒店指定之日前交纳住宿期间（超过 3 天的按 3 天）的基本住宿费为申请费。
  3. 申请费首先作为住客最终应支付的住宿费用的押金，在发生第 6 条及第 18 条的规定情况下，按照违约金，赔偿金的顺序垫付。如果发生剩余金额，按照第 12 条规定返还给住客。
  4. 如没有在第 2 项规定的本酒店指定的日期前交纳同项规定的申请费，住宿契约自动失效。但只限于本酒店事先告知住客申请费的期限时适用。

### 不需申请费的特殊约定

- (第4条) 不同于前条第 2 项的规定，本酒店设有在契约成立后不需要住客缴纳前项申请金的特殊约定。
2. 在承诺住宿契约的申请后，如本酒店不要求前条第 2 项规定的申请费及没有指定该申请费时，作为前项约定的特殊约定处理。

### 住宿契约缔结的拒绝

- (第5条) 本酒店在下列情况下，可以拒绝缔结住宿契约。
- (1) 住宿申请不按照此契约规定时。
  - (2) 由于满室（员）而没有空余客房时。
  - (3) 欲入住者有可能破坏法令法规，扰乱公共秩序或违反良好风俗习惯时。
  - (4) 欲入住者为黑社会，黑社会成员，预备队，黑社会关联企业，其他反社会势力时。
  - (5) 欲入住者为支持黑社会或黑社会成员的企事业单位及团体时。
  - (6) 欲入住者为法人，董事会中有黑社会成员时。
  - (7) 提出关于住宿的不合理要求时。
  - (8) 确认欲住宿者为传染病患者时。
  - (9) 由于天灾，设施的故障等原因无法提供住宿时。
  - (10) 欲住宿者酩酊大醉等情况下，可能严重打搅其他住客时，以及对其他住客有过激言行时。（参照各地区的治安条例）

### 住客的契约解除权

- (第6条) 住客向本酒店申请，可解除住宿契约
2. 本酒店当住客由于自己的原因解除住宿契约的一部分或全部时（当且仅当由第 3 条第 2 项的规定本酒店指定预约金的支付期限并收到预约金时，不包含住客在交纳预约金前解除住宿契约），酒店按照别表第 2 中规定项目，向住客请求违约金。如果本酒店适用第 4 条第 1 项的特殊约定，只有当酒店提前告知住客的情况下住客在解除住宿契约时才有义务缴纳违约金。
  3. 本酒店当住客再没有联系的情况下于入住当天晚 10 点（入事先确定到达时刻，在此时刻的 2 小时后）还没有到达酒店时，作为住客自行解除住宿契约处理。

## 住宿条例

### 本酒店的契约解除权

(第7条) 本酒店在以下情况下可以解除住宿契约。

- (1) 确认住客有可能或已经做出了违反法令法规，公共秩序或良好风俗的行为时。
  - (2) 确认住客有传染病时。
  - (3) 住客向酒店提出超出合理范围的要求时。
  - (4) 确认住客为黑社会，黑社会成员，预备队，黑社会关联企业以及其他反社会势力时。
  - (5) 由于天灾等不可抗拒情况而无法提供住宿时。
  - (6) 欲住宿者酩酊大醉等情况下，可能严重打搅其他住宿者时，以及对其他住宿者有过激言行时。(参照各地区的治安条例)
  - (7) 住客在寝室内睡觉吸烟，破坏消防设施，或作出其他违反本酒店指定的利用规则的行为(只限于预防火灾的必要事项)时。
2. 本酒店在按照前项规定解除住宿契约时，住客不必支付未使用过的住宿服务费用。
  3. 本酒店在按照前项解除住宿契约时，对于住客及第三方不负有赔偿责任。

### 本酒店的契约解除权

(第8条) 住客在住宿当天于本酒店登录以下事项。

- (1) 住客姓名，年龄，性别，住址及职业
  - (2) 如为外国人，登录国籍，护照号码，进入日本地点及日期
  - (3) 离开酒店日期及预定出发时间
  - (4) 其他本酒店要求事项
2. 如果住客交付第12条规定的费用时使用旅行支票，住宿卷，信用卡等现钞以外的方式，需在登记前项时提示。

### 客房的使用时间

(第9条) 住客从午后3点到第二天中午12点可使用本酒店客房。如果是连续多天住宿，除去到达日及出发日，可终日使用。

2. 本酒店可按住客需要提供前项以外的客房使用时间。此种情况下将追缴以下费用。
  - (1) 至13:00 1,000日元 / 至14:00 2,000日元 / 至15:00 3,000日元
  - (2) 超过3小时以上，全额基本住宿费

### 遵守利用规则

(第10条) 住客在本酒店内必须遵守本酒店制定的利用规定。

### 营业时间

(第11条) 本酒店主要设施的营业时间参照下表。其他设施的详细营业时间可参考手册，各处的提示信息，或客房内的服务介绍说明。

- (1) 前台，出纳等服务时间
1. 门限... 无 2. 前台服务... 24小时
  2. 前项所述时间在不得已情况下或有临时变更。此种情况下会用适当方法通知。

### 支付费用

(第12条) 住客应支付的住宿费用，参见别表1。

2. 住客在结账时在酒店前台以本酒店认可的旅行支票，住宿卷，信用卡或同等方式支付住宿费用。
3. 本酒店向住客提供客房，在使用可能以后，即使住客没有留宿也要交纳住宿费用。

### 本酒店的责任

(第13条) 本酒店在履行住宿契约以及此关联契约时，如由于不履行而对住客造成损失，承担赔偿责任。如非本酒店责任时则不在此限。

2. 尽管本酒店已从消防机关领取合格证，为了防止意外，加入了酒店赔偿责任保险。

### 不能提供契约客房时的对策

(第14条) 本酒店当不能按契约提供客房时，经住客同意，尽量介绍同一条件下的其他住宿地点。

2. 当本酒店不能按前项规定介绍客房时，以补偿金的方式支付损害赔偿金。如不能提供客房非酒店方责任时则不在此限不提供补偿。

### 寄存物品的保管

(第15条) 如住客寄存在前台的物品，现金以及贵重物品发生丢失，损毁的情况时，除去不可抗因素，本酒店进行赔偿。但本酒店将要求住客证明物品的种类及确切价格。如住客无法证明，本酒店以最高45万日元为限进行赔偿。

2. 住客带入本酒店但是没有寄存在前台的物品，现金以及贵重物品由于酒店故意或过失，发生丢失，损毁的情况时，本酒店进行赔偿。但如住客没有事先告知种类及价格时，以15万日元为限进行赔偿。

### 住客行李及携带物的保管

(第16条) 住客的行李如在入住之前到达，本酒店只限于事先知道的情况下予以保管，住客入住时交付给住客。

2. 当住客在结账后将行李或携带物忘记在酒店时，对于判明所有者的物品，本酒店与失主联系请求失主的指示。如无法判明失主，则保管3个月(包括发现当天)，最后交给最近的警察署。
3. 对于前两项的情况本酒店对于失物的处理，如符合第1项则按第1项，符合前项时按同条第2项处理。

### 停车的责任

(第17条) 住客如利用本酒店停车场，不管酒店是否寄存车钥匙，本酒店只提供停车位，不负有车辆管理责任。当且仅当由于本酒店故意或者过失造成损害的情况下，负有赔偿责任。

### 住客的责任

(第18条) 由于住客故意或过失造成酒店遭到损失时，酒店将要求住客进行赔偿。

别表1

住宿费用等明细(第2条第1项及第12条第1项关联)

		明 细
住客应支付总额	住宿费用	①基本住宿费(客房费)
	追加费用	②饮食及其他利用费
	税	③消费税 ④住宿税(按照各地方税法)

别表2

违约金(第6条第2项关联)

契约解除日期		未 住				
		未 住	当 天	前 一 天	9 天 前	20 天 前
一般	14名以下	100%	80%	20%		
	15名-99名	100%	80%	20%	10%	
团体	100名	100%	100%	80%	20%	10%

(注) 1. %为相对于基本住宿费用的违约金比例。

2. 缩减契约日数时，不管日数多少，收取1天(第一天)的违约金。

3. 团体客(15名以上)的一部分解除契约时，对于入住的10天前(如承诺申请日期在那天后按承诺申请日期算)人数的10%(如出现小数按进1法)不征收违约金。

## 이용규칙

호텔의 공공성과 안전성을 확보하기 위해, 저희 호텔을 이용하시는 고객여러분들에게 아래와 같은 규칙을 지켜주실 것을 부탁드립니다.  
규칙에 금지되어 있는 사항을 지켜주시지 못하실 때에는, 저희 호텔의 이용계약을 취소 할 수 있습니다.

### 규칙

1. 객실을 허가 없이 숙박 이외의 목적으로 사용할 수 없습니다.
2. 복도 또는 객실 내에서 난방용, 취사용 등의 화기를 사용할 수 없습니다.
3. 침대 등 화재의 원인이 되기 쉬운 장소에서의 흡연을 금지 합니다.
4. 고성방가나 싸움 등의 행위, 그의 또는, 타인에서 혐오감을 주거나, 피해를 끼치는 행위를 금합니다.
5. 관내에 이하의 용품이나 물건은 가지고 들어 오실 수 없습니다.  
(가)뽕물, 조류  
(나)현저히 악취를 풍기는 물건  
(다)현저히 양이 많은 물건  
(라)화약이나 휘발유같은, 발화 혹은 인화하기 쉬운 물건  
(마)적법하지 않거나 허가받지 않은 총포, 도검류
6. 관내 또는 객실 내에서는 도박이나 풍기를 해치는 행위를 금합니다.
7. 외부 손님을 객실 안으로 불러들여 객실내의 여러 설비,물품들의 사용할 수 없습니다.
8. 객실이나 로비를 사무소 대신 사용할 수 없습니다.
9. 관내 또는 객실내의 여러 비품, 물품을 목적 이외의 용도로 사용할 수 없습니다.
10. 객실 내의 비품을 밖으로 가지고 나가거나,호텔 안의 다른 당소로 이동할 수 없습니다.
11. 호텔의 건축물과 여러 설비에 이물질을 붙이거나,현상태를 변경하는 가공을 할 수 없습니다.
12. 호텔의 외관을 해치는 물품을 창에 걸 수 없습니다.
13. 호텔 안에서 다른 손님들에게 광고물을 배부하거나 하는 행위를 금합니다.
14. 복도나 로비 등에 소지품을 방치하지 말아 주십시오.
15. 호텔 밖에서 배달 음식물을 받을 수 없습니다.
16. 이용금액이 30,000 엔을 넘는 경우, 호텔에서부터 청구가 있을경우 지불하여 주십시오.
17. 예정숙박일수를 변경하는 경우, 프런트에 미리 연락하여 주십시오.
18. 예정숙박일수를 연장할 경우, 연장 이전에 계산하여 지불하여 주십시오.
19. 말기시는 세탁물, 클로크룸에 말기는 물건과 잃어버린 물건의 보관은 특별히 지정이 없는 한 출발후 3개월까지 입니다.
20. 현금이나 그 외의 귀중품은 반드시 프런트에 맡겨주십시오. 말기시 물건 이외의 물품의 분실에 있어서는 저희 호텔은 책임을 지지 않습니다.

## 숙박약관

### 적용범위

- (제 1 조) 당 호텔이 숙박객 사이에 체결하는 숙박계약 및 이것에 관한 계약은, 이 약관이 정하는 것으로 하고, 이 약관에서 정해지지 않은 사항에 대해서는, 법령 또는 일반적으로 확립 되어진 관습에 의한 것으로 한다.
2. 당 호텔이 법령 또는 습관에 반하는 범위에서 특약을 정하는 경우에는, 전항의 규정과 상관없이, 그 특약을 우선하는 것으로 한다.

### 숙박계약의 신청

- (제 2 조) 당 호텔에 숙박계약의 신청을 하려고 하는 자는, 다음 사항을 당 호텔에 알려주어야만 한다.
- (1) 숙박자명
  - (2) 숙박일 및 도착 예정 시각
  - (3) 숙박요금 (원칙으로서 별표 1 의 기본숙박료에 의한다.)
  - (4) 그 외 당 호텔이 필요로 인정하는 사항
2. 숙박 객이, 숙박 중에 전항 2호의 숙박일을 넘어서 숙박의 계속을 요청한 경우, 당 호텔은, 그 요청이 되어진 시점에서 새로운 숙박계약을 신청한 것으로 하고 처리한다.

### 숙박계약의 성립 등

- (제 3 항) 숙박계약은, 당 호텔이 전조의 신청을 승낙한때에 성립하는 것으로 한다. 단, 당 호텔이 승낙 하지 않았던 것을 증명한 경우에는, 성립하지 않는다.
2. 전항의 규정에 의해 숙박계약이 성립한 때에는, 숙박기간(3 일을 넘을때는 3 일간)의 기본숙박료를 한정해 당 호텔이 규정한 예약금을, 당 호텔이 지정한 날까지, 지불받는다.
  3. 예약금, 민저, 숙박객이 최저적으로 지불하여야 하는 숙박요금에 충당되고, 제 6 조 및 제 8 조의 규정을 적용할 사태가 생긴때에는, 위약금과 배상금의 순서로 충당하며, 잔액이 있을 경우, 제 12 조의 규정에 의해 요금 지불시에 반환한다.
  4. 제 2 항의 예약금을 동항의 규정에 의해 당 호텔이 지정한 일까지 지불하지 않았을 경우에는, 숙박계약은 그 효과를 상실하는 것으로 한다. 단, 예약금의 지불 기일을 지정하는것에 있어서, 당 호텔이 그 뜻을 숙박객에게 고지한 경우에 한 한다.

### 예약금의 지불을 필요로하지 않는 특약

- (제 4 조) 전조제 2 항의 규정과 상관없이, 당 호텔은, 계약의 성립후 동항의 예약금의 지불을 필요로 하지 않는 특약을 응하는 경우가 있다.
2. 숙박계약의 신청을 승낙하는 것에 있어서, 당 호텔이 전조 제 2 항의 신청금의 지불을 요구하지 않은 경우 및 당 각 예약금의 지불기일을 지정하지 않은 경우는, 전항의 특약에 응한것으로 하고 취급한다.

### 숙박계약 체결의 거부

- (제 5 조) 당 호텔은 다음 사항의 경우에 있어서, 숙박계약의 체결에 응하지 않을 경우가 있다.
- (1) 숙박의 예약이, 그 약관에 의하지 않은 경우
  - (2) 만실(원)에 의해 객실이 여유가 없을 경우.
  - (3) 숙박 하려고 하는 자가, 숙박에 관해, 법령의 규정, 공공질서 또는 선량의 풍속에 반하는 행위를 할 염려가 있다고 인정되는 경우.
  - (4) 숙박하려고 하는 자가, 폭력단, 폭력단구성원, 준구성원, 폭력단관계기업, 그 외의 반사회적세력일 경우
  - (5) 숙박하려고 하는 자가, 폭력단 또는 폭력단원이 사업활동을 지배하는 법인, 그 외의 단체일 때.
  - (6) 숙박하려고 하는 자가 법인으로서, 그 직원중에 폭력단원에 해당하는 자가 있을 경우.
  - (7) 숙박에 관해서, 합리적인 범위를 넘는 부담을 요구받은 경우.
  - (8) 숙박하려고 하는 자가, 전염병자인 것이 명확히 인정되어진 때.
  - (9) 천재, 시설의 고장, 그 외의 어쩔 수 없는 사유에 의해 숙박시킬 수 없는 경우.
  - (10) 숙박하려고 하는 자가 도둑등으로서, 다른 숙박자에 현저히 피해를 끼칠 염려가 있다고 인정되어진때, 및, 숙박자가 다른 숙박자에게 현저히 피해를 끼치는 언동을 한때(각 도도부현조례에 의해)

### 숙박객의 계약해제권

- (제 6 조) 숙박객은, 당 호텔에 신청해서, 숙박계약을 해제하는 것이 가능하다.
2. 당 호텔은, 숙박객이 그 책임을 물어야하는 사유에 의해 숙박계약이 전부 또는 일부를 해제한 경우(제 3 조제 2 항의 규정에 의해 당 호텔이 예약금의 지불기일을 지정해 그 지불을 요구함에 있어서, 그 지불 전에 숙박객이 숙박계약을 해제한 경우를 제외한다.)는, 별표 제 2 에 기재함에 있어서, 위약금을 청구하여 받는다. 단, 당호텔이 제 4 조제 1 항의 특약에 응한 경우에 있어서, 그 특약에 응함에 있어서, 숙박객이 숙박계약을 해제한 때에 위약금 지불의무에 대해, 당 호텔이 숙박객에 고지한 때에 한한다.
  3. 당 호텔은, 숙박객이 연락을 하지 않고서 숙박당일의 오후 10 시(미리 도착예정시각을 명시하고 있는 경우에는, 그 시각을 2 시간경과한 시각)가 되어서도 도착하지 않은 때는, 그 숙박계약은 숙박객에 의해 해약 되어진 것으로 간주해 처리한다.





## 숙박약관

### 당 호텔의 계약 해약권

(제 7 조) 당 호텔은 다음과 같은 경우에 있어서는, 숙박계약을 해약한다.

- (1) 숙박객이 숙박에 관해, 법령의 규정, 공공질서 또는 선량의 풍속에 반하는 행위를 할 염려가 있다고 인정 되어진 때, 또는 동행위를 한것으로 인정될 때.
  - (2) 숙박객이 전염병자인것이 명확하게 인정 되어진 때.
  - (3) 숙박에 관해 합리적인 범위를 넘어서는 부담을 요구할 때.
  - (4) 숙박객이, 폭력단, 폭력단구성원, 준구성원, 폭력단관계기업, 그 외 반사회적세력인 것이 인정 되어진 때.
  - (5) 천재등 불가항력에 기인한 사유에 의해 숙박 불가능 할 때.
  - (6) 숙박하려고 하는 자가 도둑등으로서, 다른 숙박객에 현저히 피해를 끼칠 염려가 있다고 인정된 때, 및, 숙박객이 다른 숙박객에 현저히 피해를 끼치는 인동을 한 때.(각 도도부현 조례에 의해)
  - (7) 침실에서 흡연을 하거나, 소방용설비에 장난을 치거나, 그 외 당 호텔이 정해놓은 이용규칙의 금지사항(화재예방상 필요한것에 한함.)에 따르지 않을 때.
2. 당 호텔이 전항에 규정에 근거하여 숙박계약을 해약한 때는, 숙박객이, 아직 제공 받지 않은 숙박 서비스의 요금은 받을 수 없다.
3. 당 호텔이 전항의 규정에 근거하여 숙박계약을 해약한 때는, 손님 및 관계자등 제 3 자에 대해, 당 호텔은 일체의 배상책임의무를 지지않는다.

### 숙박의 등록

(제 8 조)숙박 객은, 숙박당일, 당 호텔에 있어서, 다음 사항을 등록 한다.

- (1) 숙박객의 이름, 연령, 성별, 주소 및 직업
  - (2) 외국인이 있어서는, 국적, 여권번호, 입국지 및 입국년월일
  - (3) 출발일 및 출발 예정 시각
  - (4) 그 외 당 호텔이 필요로 하다고 인정되는 사항
2. 숙박객이 제 12 조의 요금의 지불을, 여행수표, 숙박권, 신용카드등 통화를 대신 할 수 있는 방법으로 행할 때는, 미리, 전항의 등록시에 그것들을 제시하여야 한다.

### 객실의 사용시간

(제 9 조)숙박객이 당 호텔의 객실을 사용가능한 시간은, 오후 3 시부터 다음날

- 아침 12 시까지로 한다. 단, 연속해서 숙박하는 경우에 있어서는, 도착 및 출발일을 뺀,종일 사용하는 것이 가능하다.
2. 당 호텔은, 전항의 규정과 상관없이, 동항에서 정한 시간외의 객실의 사용에 응할때가 있다. 이 경우에는 다음과 같은 추가요금을 청구한다.
- (1) 13:00까지 1,000엔 / 14:00까지 2,000엔 / 15:00까지 3,000엔
  - (2) 초과 3 시간이상은, 기본숙박료의 전액

### 이용규칙의 준수

(제 10 조) 숙박객은 ,당 호텔 안에 있어서는, 당 호텔이 정해놓은 호텔안에 게시한 이용규칙에 따른다.

### 영업시간

(제 11 조) 당 호텔의 주요한 시설등의 영업시간은 다음과 같이 하고, 그 외의 설비등의 자세한 영업시간은 팜플렛, 각각의 장소에 게시, 각실내의 서비스디렉토리등에 안내한다.

- (1) 프런트, 캐서등 서비스 시간  
 ㄱ)통금 - 없음    ㄴ)프런트 서비스 - 24 시간
2. 전항의 시간은, 필요나 어쩔 수 없는 경우에는 임시로 변경하는 경우가 있다. 그 경우에는, 적당한 방법을 가지고 알린다.

### 요금의 지불

(제 12 조) 숙박객이 지불해야하는 숙박요금등의 내역은, 별표 제 1 에 의한다.

2. 전항의 숙박요금등의 지불에는, 운임 또는 당 호텔이 인정한 여행수표, 숙박권, 신용카드등 이것을 대신해 얻는 방법에 의하며, 숙박객의 출발하는 때 또는 당 호텔이 청구할 때, 프런트에서 지불한다.
3. 당 호텔이 숙박객에 객실을 제공하며, 사용이 가능하게 된 때, 숙박객이, 임의로 숙박을 하지 않은 경우에 있어서도, 숙박요금은 청구한다.

### 당 호텔의 책임

(제 13 조) 당 호텔은, 숙박계약 및 이것에 관련한 계약의 이행에 있어서, 또는 그스들의 불이행에 의해 숙박객에 손해를 준 때는, 그 손해를 배상한다. 단, 그것이 당 호텔이 책임져야하는 사유에 의한것이 아닌 때는, 배상하지 않는다.

2. 당 호텔은, 소방기관으로부터 적마크를 수령하고 있으나, 만일 화재등에 대처하기 위해, 여관배상책임보험에 가입해 있다.

### 계약한 객실의 제공이 되지않은 때의 취급

(제 14 조)당 호텔은, 숙박객과 계약한 객실을 제공하지 못하였을 때에는, 숙박객에 이해를 구하고, 가능한한 동일 조건에 의한 다른 숙박시설을 알선하는 것으로 한다.

2. 당 호텔은, 전항의 규정과 상관없이 다른 숙박시설의 알선이 가능하지 않은 때는, 위약금 상당액의 보상을 숙박객에 지불하고, 그 보상을 손해배상액에 충당한다. 단, 객실을 제공하지 못한것에 대해서는, 당 호텔의 책임져야할 사유가 아닌때는, 보상을 지불하지 않는다.

### 기탁물등의 취급

- (제 15 조)숙박객이 프론트에 맡긴 물품 또는 현금과 귀중품에 대해서는, 멸실, 훼손등의 손해가 발생한 때는, 그것이 불가항력인 경우를 빼고, 당 호텔은 그 손해를 배상한다. 단, 현금 및 귀중품에 대해서는, 당 호텔이 그 종류 및 가격의 명확한 고지를 요구한 경우에 있어서, 숙박객이 그것을 행하지 않은 때는, 당 호텔은 45 만엔을 한도로 해 손해를 배상한다.
2. 숙박객이 당 호텔안에 가지고 들어온 물품 또는 현금과 귀중품에 있어서, 프론트에 맡기지 않은경우에 대해서는, 당 호텔의 고의 또는 과실에 의해, 멸실, 훼손등의 손해가 발생한 때는, 당 호텔은 그 손해를 배상한다. 단, 숙박객으로부터 미리 종류 및 가격의 명확한 고지가 없었던 경우에 대해서는, 15 만엔을 한도로서 당 호텔은 그 손해를 배상한다.

### 숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관

- (제 16 조) 숙박객의 수하물이, 숙박에 먼저 당 호텔에 도착한 경우에는, 그 도착전에 당 호텔이 인지했을 때에 한해서 책임을 지고 보관하며, 숙박객이 프론트에서 체크인할때 인도한다.
2. 숙박객이 체크인하는 시간에, 숙박객이 수하물 또는 휴대품이 당 호텔에 놓고 떠났을 경우에 있어서, 그 소유자가 판명되었을 때는, 당 호텔은, 당 각소유자에 연락을 함과 동시에 그 지시를 요구한다. 단, 소유자의 지시가 없을 경우 또는 소유자가 판명하지 않을 때는, 발견일을 포함해 3 개월간 보관하며, 그 후 가장 가까운 경찰서에 인도한다.
3. 전 2 항의 경우에 있어서 숙박객의 수하물 또는 휴대품의 보관에 대해서는 당 호텔의 책임은, 제 1 항의 경우에 있어서는 전조 제 1 항의 규정에의해, 전항의 경우에 있어서는 동조 제 2 항의 규정에 준한다.

### 주차의 책임

(제 17 조)숙박객이 당 호텔의 주차장을 이용하는 경우, 차량의 키를 기탁의 여부에 상관없이, 당 호텔은, 장소의 제공에 있어서, 차량의 관리책임까지는 부담하지 않는다. 단, 주차장의 관리에 있어서, 당 호텔의 고의 또는 과실에 의해 손실을 준 때는, 그 배상의 책임을 맡는다.

### 숙박객의 책임

(제 18 조)숙박객의 고의 또는 과실에 의해 당 호텔이 손해를 입은 때는, 당 각 숙박객은 당 호텔에 대해, 그 손해를 배상한다.

### 별표 제 1

숙박요금등의 내역(제 2 조제 1 항 및 제 12 조제 1 항관계)

		내역
숙박객이 지불해야하는 총액	숙박요금	①기본숙박료(객실료)
	추가요금	②음식료 및 그 외의 이용요금
	세금	③소비세 ④숙박세(도도부현타지방세법에 의해)

### 별표 제 2

위약금(제 2 조제 2 항관계)

계약신청인수	해약해제의 통지를받은날	미입실	당일	전일	9 일전	20 일전
일반	14 명까지	100%	80%	20%		
단체	15 명~99 명까지	100%	80%	20%	10%	
	100 명	100%	100%	80%	20%	10%

- (주) 1. %, 기본숙박료에 대한 위약금의 비율입니다.  
 2. 계약일수가 단축된 경우는, 그 단축일수에 관계없이, 1 일본 (첫날)의 위약금을 수수합니다.  
 3. 단체객(15 명이상)의 일부에 대해서 계약의 해제가 있는 경우, 숙박의 10 일전(그날로부터 후에 신청을 책임지고 받은경우에는 그 신청을 받은 날)에 있어서의 숙박인수의 10%(끝수가 나온경우에는 올림합)에 해당하는 인수에 있어서는, 위약금을 받지않습니다.